



2010-11



RIテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」会長/RayKliginsmith(米国)
2620地区のテーマ「ロータリアン、奉仕をクラブへ地域へ」ガバナー/中山正邦
パワー浜松ロータリークラブのテーマ「見つける明日、見つめる原点」会長/坂井光蔵

週報

第392回例会 5月10日(火)AM 7:30~8:32 オークラクトシティホテル浜松4F平安の間
■司会;鈴木孝尚 ■点鐘;坂井 光蔵 ■ロータリーソング;希望のエナジー
■ゲスト;富田 明様(浜松南RC/地区米山記念奨学金委員会・委員長)、米山奨学生・賀 新剛さん

会長挨拶

新聞を読んでいましたら、震災の影響で自動車の生産が間に合っていないそうです。あのトヨタ自動車でも秋頃になると言う事でした。一方で中古車の値段が高くなっています。カーナビも半導体の生産が間に合わないで生産が遅れている状態です。ルネソス(株)と言う会社は、半導体性差で世界シェア30%とトップ企業なのですが、日立の下請け為、赤字になっているそうです。下請けからの脱却が黒字になって行く要素だと思えます。当社も先月決算でしたが、増収減益で5%の利益が有りました。我がクラブ会員の小澤さんの会社は、利益20%も有り優良企業だと思えました。良い会社にしていくには、経営者が勉強をし、下請けから脱却し利益を生んで、人材の育成を行い、働いている社員が幸せになる事だと思えます。

幹事報告

- ①2011年2月25日に開催されました第7分区IMの報告書がホストクラブであります浜松中RCより届きましたので配布します。ご覧下さい。
- ②職業奉仕PJが企画しました「ねむの木訪問」が日曜日に行われ会員20名が参加しました。堀内善弘Pを始め藤田允さんや岩本英樹さん達のご協力が無事終了出来ました。
- ③5月のView広場のテーマは『端午の節句』です。
- ④本日の配布物はロータリーの友、ガバナー月信です。

会長挨拶 続き

社員が生き生きと働ける会社を作っていく事が経営者に求められ、それが社会奉仕に繋がっていくのではないかと思います。それが、ロータリークラブの職業奉仕ではないかと考えます。そして、そういう事をしていきたいというメンバーを集めていくのが必要だと思えます。本日のクラブ協議会でも、色々なご意見や次年度どんな事が出来るかを議論して下さい。



ハッピーバースデー:河村さん

スマイル

犬丸英雄;6月6日(月)テレビ等にも出演し、独特の語り口が注目の戦場カメラマン・ジャーナリストの渡部陽一さんの講演会を開催します。闘争地域を歩き続け、今般の東日本大震災では被災地へも足を向けています。渡部さんのリアルな声を聞いてみませんか?ご案内を配布させて頂きました。宜しくお祈りします。

金山土洲;連休前に右目の白内障の手術を滝浪先生のお口添えを頂き、無事に終了しました。明るい所が半分位しか見えなかった右目が大変良く見える様になりました。滝浪先生、有り難うございました。尚、坂井会長から爺さん、爺さんと言われていますが、目だけは若返りました。今朝、坂井会長の汚い顔が見え過ぎて困っています。

小田木基行;当クラブメンバー小澤邦比呂副会長が本を出版されました。5月1日に静岡新聞で紹介されました。題名は『人と人との間にあるべきもの<愚直雑記>』です。社会への感謝や人間力の必要性を強調し、未来に向けて「幸福」「夢」へのメッセージが書かれています。金山土洲さんの書も掲載されています。是非、一度お読み下さい。

河村正隆;寄席演芸専門の芸能プロダクション「ケイ企画」河村です。5/29田辺一邑独演会のチラシを配布しましたので、ご覧下さい。一邑さんは、やらまいか大使で浜松北高卒です。当日は河村もスタッフとして働きます。チケットは河村迄お申しつけ下さい。

ゲスト挨拶

富田 明様(ロータリー米山記念奨学金委員会・委員長);ロータリー米山記念奨学事業は、日本のロータリーが作り育てた国際奉仕プログラムです。事業の推進は、全国9万人のロータリアンの寄付によって支えられています。現在、年間800名の米山奨学生を支援していますが、年間約15億円が必要です。普通寄付として¥12,000/人・年のロータリアンの寄付と特別寄付があります。そして奨学金による支援だけでなく世話クラブとカウンセラー制度があります。パワー浜松RCさんには、3人目の奨学生をお引き受け頂き有り難うございます。1年半の間宜しくお願い申し上げます。

賀 新剛さん;静岡大学 修士課程1年

出席報告

81名中56名70.89%
前々回修正出席率



パワー浜松ロータリークラブ事務局/〒430-7733 静岡県浜松市中区板屋町111-2 オークラクトシティホテル浜松4307号室
Tel/Fax 053-452-0800 Email info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp/
創立/2002年10月22日 RI承認/2002年11月27日 認証伝達式/2003年4月29日 スポンサークラブ/浜松中ロータリークラブ



2010-11



RIテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」会長/RayKliginsmith(米国)
2620地区のテーマ「ロータリアン、奉仕をクラブへ地域へ」ガバナー/中山正邦
パワー浜松ロータリークラブのテーマ「見つける明日、見つめる原点」会長/坂井光蔵

議事卓話

第392回例会
2011年5月10日
幹事

・米山記念奨学生について ・第2回2011-12年度クラブ協議会「事業計画について」協議会

・米山記念奨学生について

2620地区米山奨学委員長浜松南RC/富田昭雄様:

本日は奨学生の世話クラブおよびカウンセラーをお受けしていただいた御礼と1年半よろしくということ挨拶にきました。

パワー浜松も早いもので来年で10年ですが、米山奨学金への寄付の金額は累計で860万円になりますが、皆さまには寄付した気持ちがないと思います。

これは1人当たり毎月1,000円が自動分担金として集められているためです。

日本全体では年間約14億円の寄付金が集められ、全国で800人、

2620地区では20人の奨学生を受け入れております。

米山記念奨学会は米山梅吉翁は、1920年に日本初のロータリークラブである「東京ロータリークラブ」を設立した初代会長です。1924年に三井信託株式会社を創立しております。

1952年、米山梅吉翁の功績を記念して、東京ロータリークラブによって「米山基金」が設立されました。

この基金を使い奨学生を受入れが始まりまして、これまでに16,000人程を受け入れております。

この奨学会は日本の大学院に留学する学生に奨学金を出して、より一層の勉強をしてもらい、日本との懸け橋となる人材を育てるようとするものです。これまで、米山奨学金を受けて博士になった人は3,210人います。第18代駐日韓国大使権哲賢氏は米山記念奨学生です。

奨学金の使い道の提示を奨学生に求めません。奨学生が将来それをどうやって活かしていくかは自分で考えてもらい暖かい目で見守っていくようになっております。彼もそれを肝に命じて、かならず20年後、30年後に返していただけたらと思っております。



・第2回2011-12年度クラブ協議会「事業計画について」

次年度幹事/加藤隆司:

本日は最終の次年度のクラブ協議会となります。会長からの挨拶の内容も踏まえて、来年度の事業計画について話し合いをお願いします。では、各委員長さんよろしくお願ひします。



POWER

パワー浜松ロータリークラブ

〒430-7733

静岡県浜松市中区板屋町111-2 オークラクトシティホテル浜松4307号室

Email info@power-hamamatsurc.jp <http://www.power-hamamatsurc.jp/>

Tel/Fax 053-452-0800